

甲賀流リアル忍者館

甲賀流とは、近江国甲賀（現在の滋賀県甲賀市）の忍者を指します。歴史的に、甲賀と伊賀（三重県）の隣接する地域は、封建時代の忍者活動の中心地でした。

ポップカルチャーやメディア、漫画や映画などの芸術作品によって、忍者は黒装束をまとった超人的な暗殺者として世界に紹介されていますが、これらの描写は正確ではないことが多くあります。近年、研究者や歴史家は甲賀流忍者の本当の姿を再現しようと努力しています。甲賀流リアル忍者館は、この豊かな遺産を伝えると同時に、甲賀観光のゲートウェイとしての役割も果たしています。

忍者の主な役割は、依頼者のために情報を集めることであり、彼らは様々なスキルを駆使して目立たないように行動しました。忍術、すなわち忍者の技術は、隠密行動や生存戦術に重点を置いており、身体的な耐久力、精神的な機敏さ、戦略的思考が求められました。

甲賀流リアル忍者館では、忍術に関する洞察を提供するインタラクティブな展示や鑑賞物があり、忍者を定義する知識やスキルが紹介されています。訪問者は、年齢を問わず、ハンズオンのアクティビティを通じて内なる忍者に触れることができます。

包括的な時系列での展示は、甲賀流忍者の歴史における重要な発展と、彼らが日本の主要な歴史的人物を支える上で果たした重要な役割を強調しています。他の展示では、砦の建築における忍者の専門知識や薬草と薬理学に関する広範な知識など、地域における忍

者の遺産が探求されています。

甲賀流リアル忍者館は、忍者研究の拠点でもあり、忍者が実際にどのような人物であったかを探るための情報を提供する歴史的文書が展示されています。スタッフは、地域の他の忍者関連の観光スポットの案内や、レンタサイクルの貸し出しも行っています。土産物店では、忍者関連の商品や甲賀地域の特産品が豊富に取り揃えられています。